

## Ⅳ. 信用リスク削減手法

信用リスク削減手法を適用したエクスポージャー

(単位：百万円)

		連 結		単 体	
		平成20年度 中間期末	平成21年度 中間期末	平成20年度 中間期末	平成21年度 中間期末
適格金融資産担保	現金及び自行預金	164,263	143,218	164,263	143,218
	金	—	—	—	—
	債券	—	—	—	—
	株式	3,949	3,455	3,949	3,455
	投資信託等	—	—	—	—
	合 計	168,212	146,673	168,212	146,673
保証 クレジット・デリバティブ	保証	482,116	479,473	481,109	478,755
	クレジット・デリバティブ	—	—	—	—
	合 計	482,116	479,473	481,109	478,755

(注) 自己資本比率算出上、信用リスク削減手法を適用したエクスポージャーの額であります。  
当行では、自己資本比率算出における信用リスク削減手法として包括的手法を採用しております。

## Ⅴ. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスク

### 1. 与信相当額の算出に用いる方式

派生商品取引の与信相当額は、カレント・エクスポージャー方式にて算出しております。  
長期決済期間取引に該当する取引はありません。

### 2. グロス再構築コストの額（零を下回らないものに限る）の合計額及び与信相当額

法的に有効な相対ネットティング契約の効果や担保による信用リスク削減手法の効果を検討した取引はありません。

#### 【連結】

(単位：百万円)

種類及び取引の区分	平成20年度中間期末			平成21年度中間期末			
	グロスの再構築コスト(A)	グロスのアドオン(B)	与信相当額(A)+(B)	グロスの再構築コスト(A)	グロスのアドオン(B)	与信相当額(A)+(B)	
派生商品取引	外国為替関連取引	5,536	14,593	20,129	9,536	14,547	24,083
	金利関連取引	356	514	871	290	317	608
	その他の派生商品取引	—	—	—	—	—	—
	クレジット・デリバティブ	—	—	—	—	—	—
	合 計	5,892	15,108	21,001	9,826	14,865	24,692
長期決済期間取引	—	—	—	—	—	—	

#### 【単体】

(単位：百万円)

種類及び取引の区分	平成20年度中間期末			平成21年度中間期末			
	グロスの再構築コスト(A)	グロスのアドオン(B)	与信相当額(A)+(B)	グロスの再構築コスト(A)	グロスのアドオン(B)	与信相当額(A)+(B)	
派生商品取引	外国為替関連取引	5,536	14,593	20,129	9,536	14,547	24,083
	金利関連取引	356	514	871	290	317	608
	その他の派生商品取引	—	—	—	—	—	—
	クレジット・デリバティブ	—	—	—	—	—	—
	合 計	5,892	15,108	21,001	9,826	14,865	24,692
長期決済期間取引	—	—	—	—	—	—	

(注) 原契約期間が5営業日以内の外国為替関連取引は上記記載から除いております。